

2026年度総合型選抜及び高大連携総合型選抜の課題レポートについて

以下の課題から1題を選択し、その課題について、インターネット、新聞、書籍などのメディアを利用して情報を収集し、その記事内容をまとめた上で、自分の意見を述べてください。800字程度、形式及び用紙は自由、余白にエントリー番号、氏名を記入してください。

1. 「デジタル教科書の導入について」

文部科学省は、2024年度から小中学校の英語、算数・数学の一部でデジタル教科書の導入を開始しています。そして、学校教育の現場でデジタル教科書を「正式の教科書」と位置づけ、紙の教科書と選択できる制度の導入を検討しています（2025年6月現在）。

デジタル教科書には、動画や音声を活用した学習支援や、一人一人の児童生徒の理解度に応じた柔軟な学びが可能になるといった利点がある一方で、端末依存、子供の視力や集中力の低下、短気になるなどの課題や学力低下への懸念も指摘されています。

あなたは、今後の学校教育において、紙の教科書に代えてデジタル教科書を全面的に導入すべきだと考えますか。それとも、紙の教科書を基本とし、デジタル教科書は補助的に用いるべきだと考えますか。いずれかの立場（またはさらに別の立場）を明確にし、その理由を述べてください。

2. 「仕事のコンピュータ化と雇用問題について」

皆さんは、スーパーやコンビニエンスストアのセルフレジや、飲食店の配膳ロボットなどを目にすることも多いと思います。これまで人間が行っていた仕事を、コンピュータやロボットが行うことによって、人間の仕事のミスが減少したり、仕事が効率化されることによって人間の労働時間が減少する利点があります。

一方で、コンピュータやロボットに、人間の仕事が奪われることを心配する意見もあるようです。この問題について、あなたの考えを述べてください。

3. 「シェアリングエコノミーについて」

自動車や住宅などの資源を他者と共有して活用し、新たな価値を創出する「シェアリングエコノミー」が広がりを見せています。

シェアリングエコノミーの利点と課題を踏まえたうえで、このサービスが社会にもたらす変化と具体的な活用方法について、あなたの考えを述べてください。

4. 「信書の送達について」

「特定の受取人に対し、差出人の意思を表示し、又は事実を通知する文書」である信書は、原則として日本郵便の郵便サービス、または、信書便法に基づく許可を得た民間事業者のサービスを利用して送達されなければならないことが法律で定められています。

信書といわれると馴染みがないかもしれませんが、私たちの身近な例では手紙や葉書などの書状、納品書、見積書、領収書、投票所入場券、招待状等は信書であり、これらを宅配便で送ると罰則が科せられる可能性があります。

2003年に信書便法が施行されたことで、民間事業者による信書の送達が可能になりましたが、この事業への参入のハードルは高く、現在一般信書便事業を行っている企業は存在しません。

そもそも手紙や葉書が郵便サービス以外では利用できないことを知らない人も少なくない現状において、信書の送達が日本郵便の郵便サービスに限られることで生じる問題について、あなたの考えを述べてください。

5. 「オンライン授業やテレワークの普及について」

新型コロナウイルスが世間を騒がせたとき、大学や職場ではオンライン授業、テレワークを採用し、自宅で勉強や仕事をするようになりました。しかし、あれから数年が経ち、オンライン授業、テレワークを採用している大学や職場は少なくなりました。オンライン授業、テレワークの良い点と悪い点について、大学生や働く人の立場から、あなたの考えを述べてください。